

## 第5章 総合庁舎に必要な機能

総合庁舎建設の基本理念及び基本方針を実現するために、求められる機能を次のとおりとします。

### 1. 使いやすい総合庁舎

#### (1) わかりやすい総合庁舎

総合窓口の設置、わかりやすい動線や関連する課を近接させる等各課の配置の工夫及び案内サインの充実、色による識別等の活用により、来庁時に迷うことなく、迅速・確実に目的の行政サービスが受けられるような機能を備えます。

#### (2) 利用者に優しい総合庁舎

ユニバーサルデザインの導入、待合いスペースへのキッズスペースの確保、授乳室や赤ちゃん休憩所(オムツ替えスペース等)の設置などにより、誰でも安心して利用でき、充実した市民サービス提供のための機能を備えます。

#### (3) 利便性の良い総合庁舎

自家用車での来庁者が多いことから、十分な駐車・駐輪スペースの確保を行います。また、スムーズな車両の出入りや歩行者との分離及び車椅子などの移動が不自由なくできるよう、動線と安全に配慮した駐車スペースを整備します。さらに、バスの運行拠点の機能を併設するなど、周辺からの高いアクセス性により、市民にとっての利便性を確保します。

#### (4) 協働を促進する総合庁舎

情報発信スペース等を活用し、市民が行政の取り組みなどの情報を知ることができる環境を整備します。また、議会においても、入りやすい傍聴スペースや市民相談室等の確保など、市民にとって市政を身近に感じ、協働を促進するような機能を備えます。

### 2. 安心と信頼のある総合庁舎

#### (1) 災害時の防災拠点となる総合庁舎

災害時の防災拠点として、市民や職員の安全を確保できる、耐震性に優れ、安全な立地とします。また、災害対策本部として十分な機能・スペースを確保するとともに、非常食などの備蓄倉庫や非常用電源設備などを確保します。さらに、情報通信機能の充実や災害時の物資及びボランティアの受け入れ、周辺住民の一時避難場所となる施設としての役割を果たすための機能を備えます。

#### (2) 市民生活を守り支える総合庁舎

高度化・多様化する市民ニーズに対応し、きめ細かい行政サービスが提供できる環境を整えます。相談室の設置、窓口配置の工夫や仕切りパネル等の設置により、個人情報やプライバシー保護を徹底します。また、マイナンバー制度など各種制度に対応し、個人情報及び行政情報を適切に管理・保護するための機能を備え、災害時においてもそれらのセキュリティが確保されるよう配慮します。

### 3. 多様で新たなニーズに対応できる機能的な総合庁舎

#### (1) 総合的なサービスが提供できる総合庁舎

行政サービスのワンストップとして、各課の連携が容易になるような配置や関連する課を近接に配置するなど、市民へよりわかりやすく総合的な行政サービスが提供できる機能を備えます。特に、市民の利用の多い窓口については、低層階に集約し、利便性の向上を図ります。また、総合的な健康づくりのための拠点施設として保健センターを併設又は複合施設として整備し、子育てを行っている世帯や母親をはじめ、多くの市民の利便性を考慮すると共に、市民が保健と健康増進サービスを安心して受けられる環境を確保します。

#### (2) 効率的な執務環境をもつ総合庁舎

新たなニーズに対応し、より効率的で、充実した市民サービスを実現するための配置など、工夫を凝らした執務スペースや会議スペース等を確保します。職員と市民の動線を分けるなどにより、セキュリティを確保しつつ、それぞれが適切なスペースを保ち、スムーズに行動できる機能を備えます。さらに、昼食時間帯の窓口対応なども視野に入れた執務環境を検討します。

#### (3) 将来の需要の変化にも柔軟に対応できる総合庁舎

新しい情報技術や新たな制度の導入及び時代の変化に合わせた窓口対応等が可能な、柔軟性、汎用性を確保します。また、倉庫や書庫についても十分に確保し、将来の需要や行政ニーズの変化に応用できるようなつくりを目指します。

### 4. シンプルで経済的な総合庁舎

#### (1) 環境負荷を抑える総合庁舎

採光を考慮し、太陽光などを有効活用することで、省エネルギーに徹底的に取り組めます。

#### (2) 貴重な資源を循環利用する総合庁舎

本市において重要で貴重な水資源等の循環利用、かつ無駄な使用を抑えるための機能を備えます。

#### (3) 自然と共存し、調和する総合庁舎

庁内やその周辺において緑化を促進するなど、自然環境とのつながりを感じられ、訪れる人々にやすらぎと活力を与えられるような庁舎環境づくりに取り組みます。

#### (4) シンプルで効率的な総合庁舎

建設コスト（イニシャルコスト）及び運用コスト（ランニングコスト）の面においても合理的で無駄のない機能美なデザインを目指します。また、建物・設備の長寿命化を図り、維持管理がしやすい構造や材料を導入するなど、長期的なコストの削減を図ります。